

再評価【番号6】

**総合流域防災事業
二級河川吉野川水系 熊谷川**

1. 河川の概要

熊谷川
流路延長 L=6 km
(県管理区間)
流域面積 A=8.18km²



- 避難場所
- 社会福祉施設
- 医療施設
- 防災拠点施設

※浸水範囲内および周辺の施設のみ記載

平成16年台風23号
浸水面積：320ha
浸水戸数：13戸

■ : H16台風23号 浸水区域



出水時の状況

熊谷川樋門
熊谷川排水機場

吉野川

2. 事業概要

総合流域防災事業 熊谷川
平成4年度着手 阿波市

計画諸元

計画規模 : 1/30
計画流量 : 110m³/s

H27迄工事区間: 
H28工事区間: 
H29以降区間: 

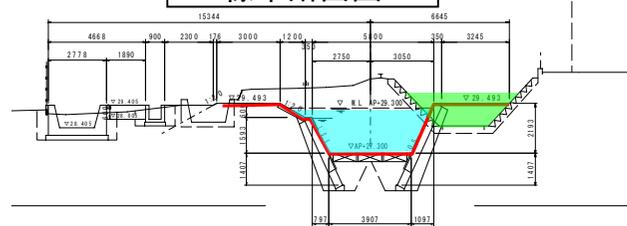
改修前(熊谷川)



改修後(熊谷川)



標準断面図



国道318号線

熊谷川

県道浦池南原線

残延長
L=2,440m

改修延長
L=3,120m

主要地方道
鳴門池田線

実施済み延長
L=680m

県道土成徳島線

主要地方道徳島吉野線

熊谷川樋門

熊谷川排水機場

吉野川

3. 整備効果

【マニュアルによるB/C】

便益 (B)

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

被害軽減期待額

→便益 B = 147.49 億円
(現在価値化後)

費用 (C)

- ・ 建設費
- ・ 維持管理費 (整備後50年間)

費用 C = 30.64 億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 4.8$$

【その他の整備効果】

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② 通信 (固定) の停止による影響人口

貨幣換算可能な整備効果

交通途絶による被害

経済被害の域内・外への波及被害

水害廃棄物の処分

※水害の被害指標分析の手引 (H25 試行版) 平成25年7月
(国土交通省 水管理・国土保全局) による

4. その他の整備効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	901人
浸水区域内の災害時要援護者数	345人
最大孤立者数	36人

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

社会福祉施設数	6施設
---------	-----

→災害時の社会福祉体制の確保

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	10人
通信(固定)の停止による影響人口	10人

→安心できる住民生活環境の確保

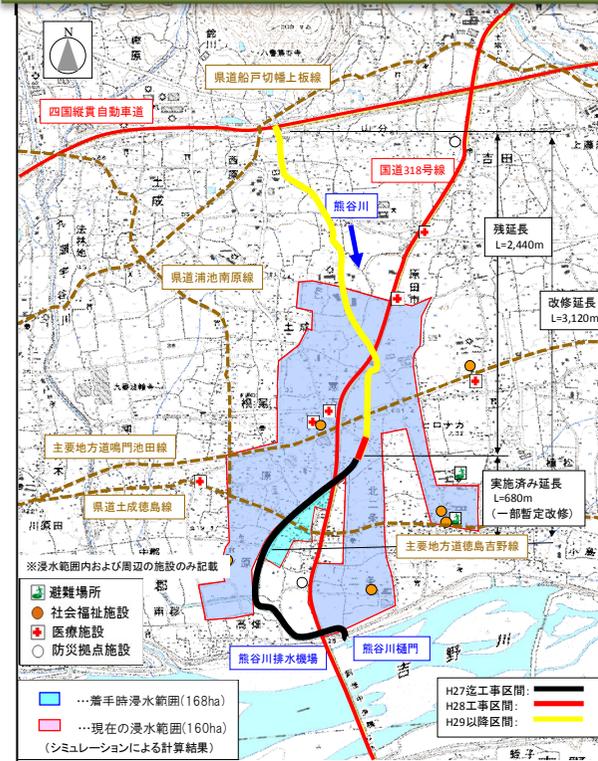
交通途絶による被害

出水1回当たり
3百万円の被害を軽減

経済被害の域内・外への波及被害

出水1回当たり 40百万円の被害を軽減

貨幣換算可能な整備効果



水害廃棄物の処分

出水1回当たり
1百万円の被害を軽減

出水1回当たり被害額
＝約0.44億円

5. 河川整備によるストック効果

